



感染症週報

令和7年9月22日発行



小笠原での流行状況

第38週（9月15日 から 9月21日まで）

父島 特別な感染症の報告はありませんでした。

母島 COVID-19の報告がありました。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

第37週（9月8日～9月14日）

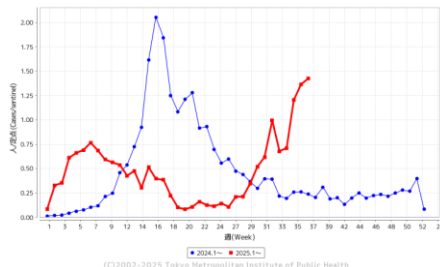
【警報・注意報】

なし

【ピックアップ】

★増加しています

- ・RSウイルス感染症
(定点患者報告数 1.43)



- ・感染性胃腸炎
(定点患者報告数 5.25)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
(定点患者報告数 1.88)

★まだまだ注意が必要です

- ・新型コロナウイルス感染症
(定点患者報告数 4.43)
- ・百日咳
(累計報告数 5,862例)

感染症メモ

出典、参考：東京都感染症情報センター
結核予防会結核研究所

結核は肺だけでなく、リンパ節・腎臓・骨・脳など全身に広がる可能性がある感染症です。かつてよく見られた脊椎カリエスとは、結核菌が脊椎に感染したものです。感染は主に空気感染で、咳やくしゃみによって結核菌が空气中に飛び散り、周囲の人がそれを吸い込むことで起こります。ただし、吸い込んですぐには発病するわけではなく、菌が体内で冬眠状態になり、免疫力が低下したときに再び活動を始めることがあります。結核菌は体内で炎症を起こし、組織を壊して空洞を作ることがあり、菌が増殖しやすくなります。この空洞はX線検査で確認できることが多く、**早期発見・早期治療が重要**です。油断せず、正しい知識を持って予防・検査を心がけましょう。



結核を知ろう



結核ってどんな病気？

「昔の病気」と思われがちな結核ですが、実は今でも1日約30人が新たに発症し、5人が亡くなっている感染症です。東京都では昨年1年間で1,190人が新たな患者として登録されています。

高齢者だけじゃない！

患者の約7割は60歳以上の高齢者ですが、若年者からの発症もありますので油断禁物です。咳が長引く、微熱が続く、体がだるい…そんなときは「ただの風邪」と思わず、検査を受けることが大切です。

結核はきちんと治療すれば治る病気です！

結核は治療すれば治る病気です。治療には複数の抗菌薬を6か月ほど服用します。**途中で薬をやめると、菌が薬に強くなり治療が難しくなることがあります。**しっかり治すには、根気よく治療を続けることがポイントです。

予防のポイント

- 生後1歳までにBCG接種をすることで発症や重症化を防ぐことができます。
- 定期健診の胸部X線検査で早期発見
- **咳・微熱・身体のだるさ**が2週間以上続いたら医療機関を受診しましょう！



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所